NEC

あんしんスタート Windows 8

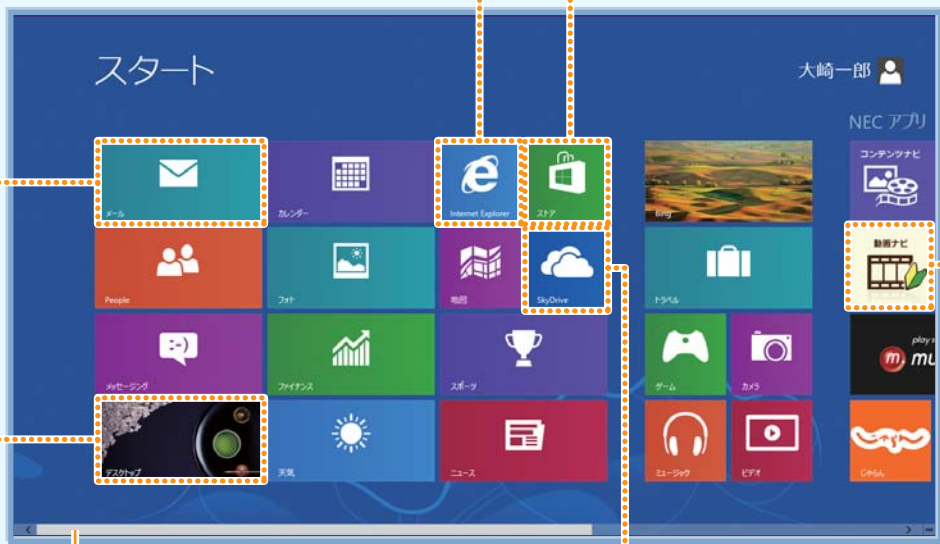
～ 目次 ～

「スタート画面」が Windows 8 の入口です

はじめに出てくる「スタート画面」。ここが Windows 8 の入口です。
タイル（四角いアイコン）を押せば、すぐにアプリを使い始められます。

メール：
電子メールはこのタイルから（→p.11）

Internet Explorer：
インターネットはこのタイルから（→p.10）

ストア：
このパソコンで使うアプリを購入できます
無料のアプリもたくさん！（→p.12）

画面の右側にかくれているタイルは、
画面を横にスクロールして表示します。

デスクトップ：
デスクトップ アプリを使うには このタイルから（→p.14）

SkyDrive（スカイドライブ）：
無料で使えるインターネット上のファイル保管場所（→p.12）

動画ナビ：
Windows 8 の詳しい操作を動画で見られます

スタート画面には、チャーム バー（→p.5）の （スタート）から、いつでも戻れます。

よく使うアプリをここに登録（Windows 8 ではピン留め（→p.9）と呼びます）しておくと使いやすくなります。

この冊子の中では、タッチとマウス（NX パッド）の操作を次のアイコンで示します。

Windows 8 をはじめる（電源の入れかたとロックの解除）

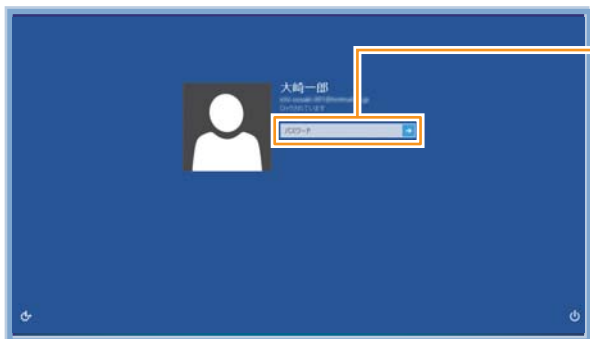
1 パソコンの ⏻（電源スイッチ）を押す

2 ロック画面をめくる（上にスワイプ、またはクリック）

クリック

上にスワイプ（→p.4）

3 パスワードを入力して、Enter キーを押す

スタート画面（→p.2）が表示されます。

Windows 8 を終わる（電源の切りかた）

1 「チャーム バー」（→p.5）を表示する

2 ⚙（設定）をタップ（またはクリック）する

3 「電源」をタップ（またはクリック）する

4 「シャットダウン」をタップ（またはクリック）する

次回すぐに使いたい場合は「スリープ」を選びます。

基本的なタッチ操作をおぼえましょう

タッチパネルモデルでは、画面を直接さわってパソコンの操作ができます。

おしらせ

- このページの操作は、タッチパネルモデルでのみ利用できます。
- このパソコンに入っている「動画ナビ」では、タッチ操作を動画で確認できます（→p.2）。

タッチ操作の基本アクション

タップ

トンッ

1回たたく

"アプリなどを選ぶ"基本操作

スライド

スーッ

タッチしたまま指を動かす

"アプリなどを動かす"基本操作

ダブルタップ

トトンッ

すばやく2回たたく

デスクトップでのアプリ起動、コマンド実行など

スワイプ

シュッ

タッチしたまま"少し"動かす

メニューなどの表示（→p.5）、タイルの選択（→p.9）

ピンチ／ストレッチ

ギュッ

グイッ

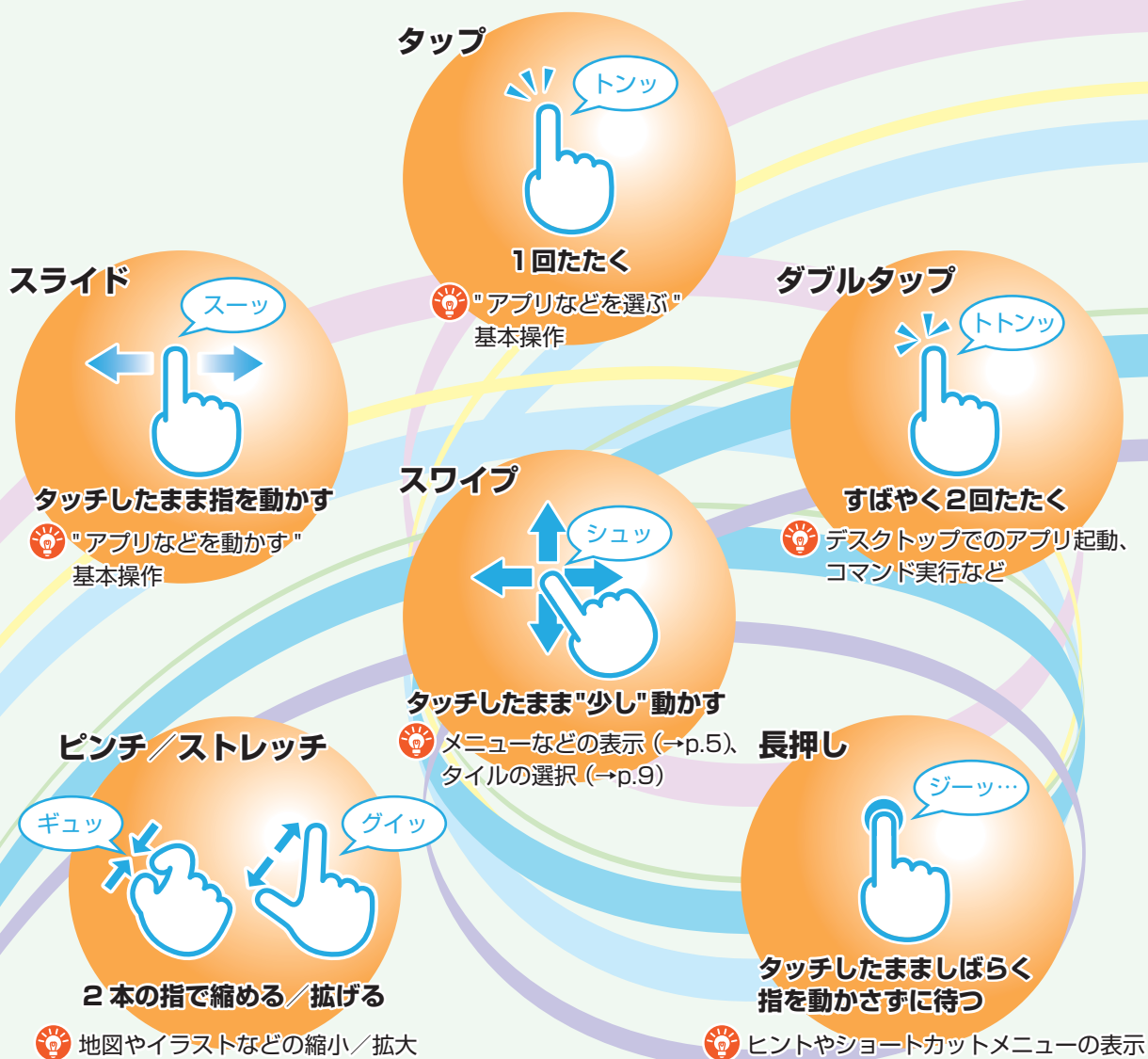
2本の指で縮める／拡げる

地図やイラストなどの縮小／拡大

長押し

ジーッ…

タッチしたまましばらく指を動かさずに待つ

ヒントやショートカットメニューの表示

基本的な画面操作をおぼえましょう

チャーム（チャーム バー）

チャーム バーはよく使う機能を集めたメニューです。起動しているアプリに応じて、いろいろな機能を利用できます。
よく使いますので、表示する方法とその機能をおぼえておきましょう。

チャーム バーは次の操作で表示します

右上の隅にマウスポインタを合わせ、下に動かす

外から

画面右からスワイプ

チャーム バー

検索
共有
スタート
デバイス
設定

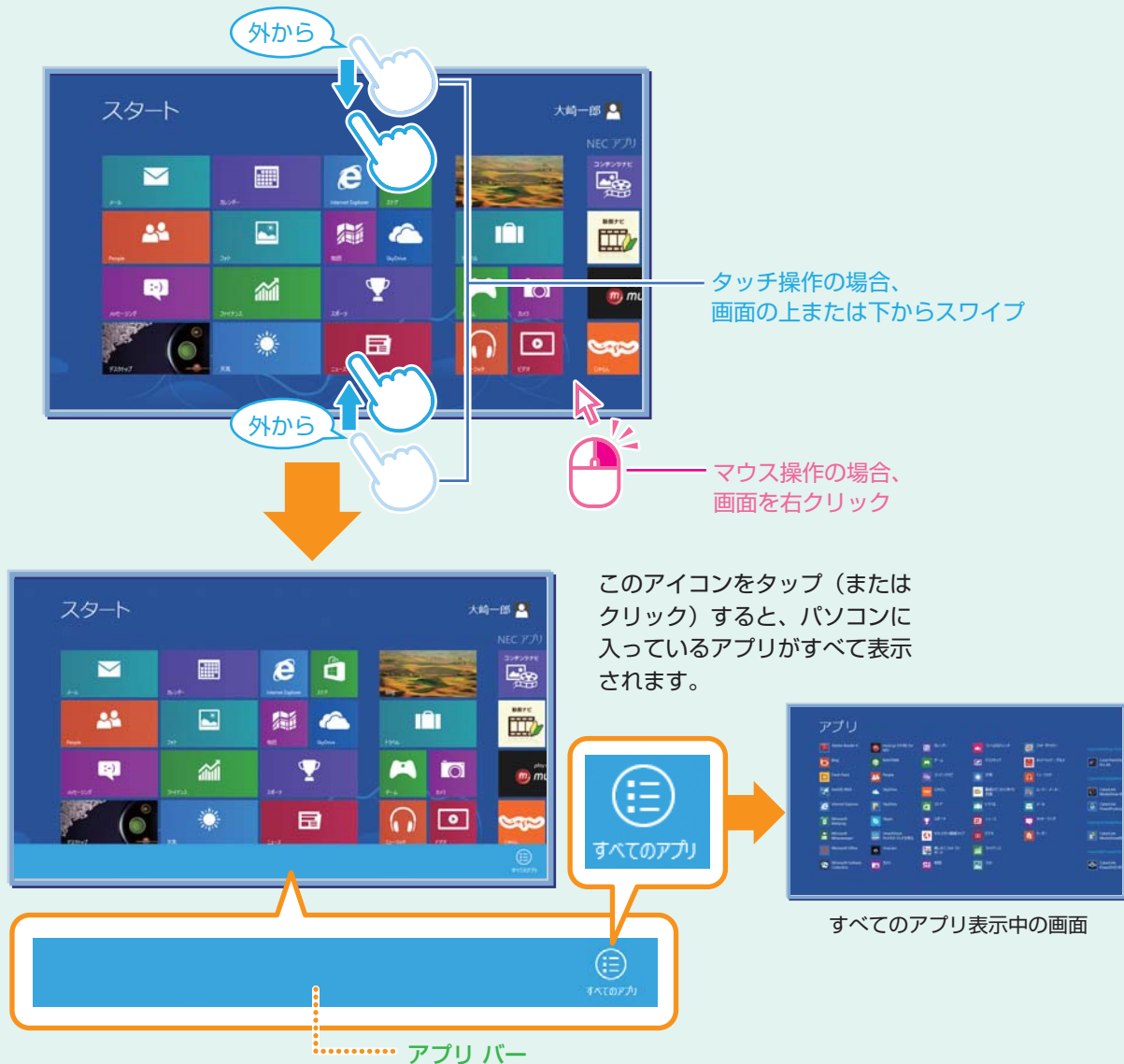
- 検索：検索とアプリの起動に使います。検索対象はアプリによって変わります。
- 共有：ファイルや情報を他のアプリで利用するときに使います。
- スタート：**スタート画面を表示します。迷ったらスタート画面に戻りましょう！**
- デバイス：他の機器にデータを送ります。印刷するときなどに使います。
- 設定：表示しているアプリの設定をおこないます。スタート画面では Windows 全般の設定ができます。

チャーム バーを表示すると次の情報も表示されます。
－時刻・日付
－ネットワーク状態（電波強度など）
－バッテリの残量（バッテリ使用時）

アプリ バー、ナビゲーション バー

アプリ バーとナビゲーション バーは、表示しているアプリに対してさまざまな操作をおこなうためのバーです。アプリ バーは画面下側に、ナビゲーション バーは画面上側に表示され、それぞれが表示されるかどうかはアプリによって異なります。表示されるメニューや機能はアプリの状況により変化します。

アプリ バーとナビゲーション バーは次の操作で表示します

すべてのアプリ表示中の画面

上の例のように、スタート画面ではナビゲーション バーは表示されません。
たとえば、Internet Explorer の場合は、画面上側にナビゲーション バーが、画面下側にアプリ バーが表示されます（→p.11）。

画面やアプリを切り換える

Windows 8 では、いろいろなアプリを切り換えて使うことができます。
ここでは画面やアプリの切り換えの主な方法を紹介します。

最近使用したアプリをアプリ一覧から選ぶ

最近使用したアプリをアプリ一覧にあるサムネイル（縮小画像）から選びます。

マウス操作の場合、次の①②の手順で選びます

①左上の隅にマウスポインタを合わせ、下へ動かす
②アプリのサムネイルをクリック

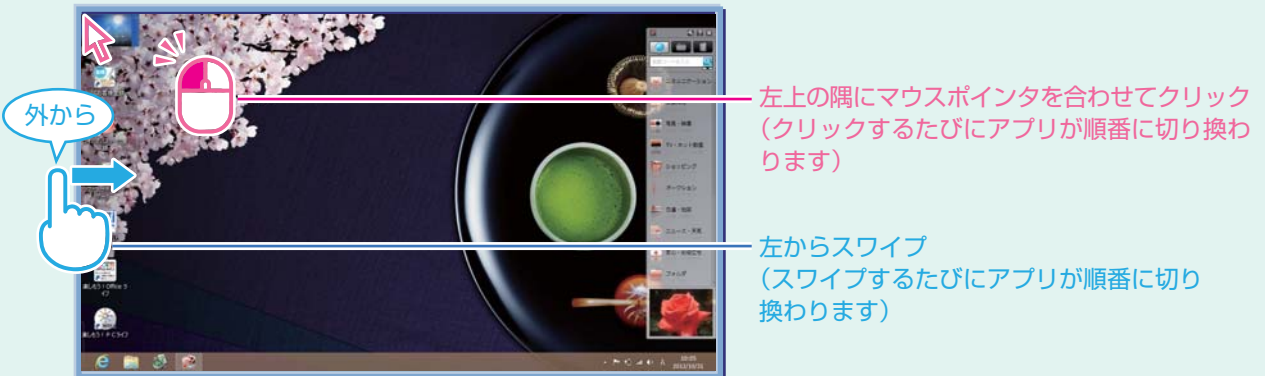
タッチ操作の場合、次の①②の手順で選びます

①画面左からスライドさせ、いったん止め、指を離さずもとに戻す
②アプリのサムネイルをタップ

最近使用したアプリを順番に切り換える

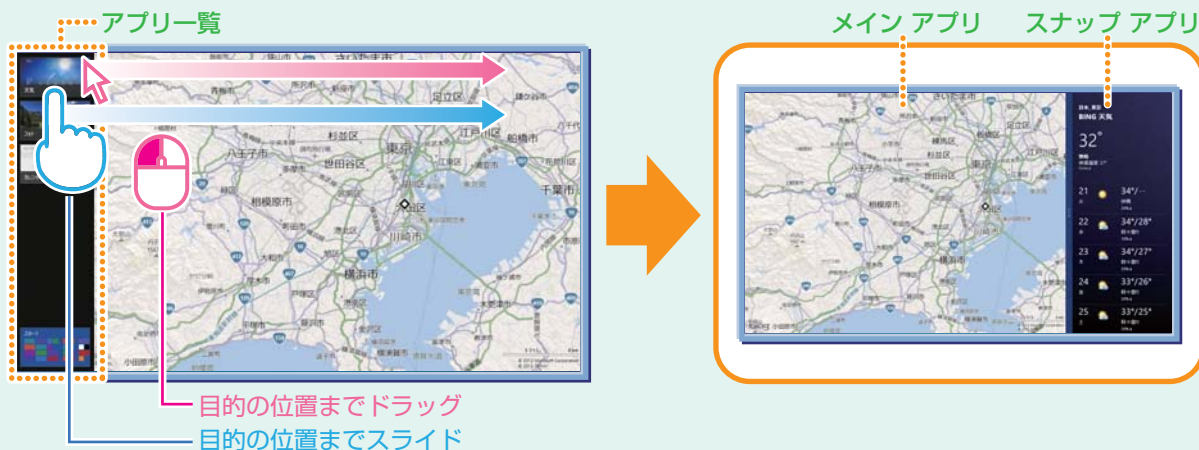
最近使用したアプリを順番に切り換えます。

左上の隅にマウスポインタを合わせてクリック
（クリックするたびにアプリが順番に切り換わります）

左からスワイプ
（スワイプするたびにアプリが順番に切り換わります）

2 つのアプリを並べて表示する

2 つのアプリを、画面の左右に並べて表示できます。
大きい画面を「メイン アプリ」、もう一方は「スナップ アプリ」と呼びます。

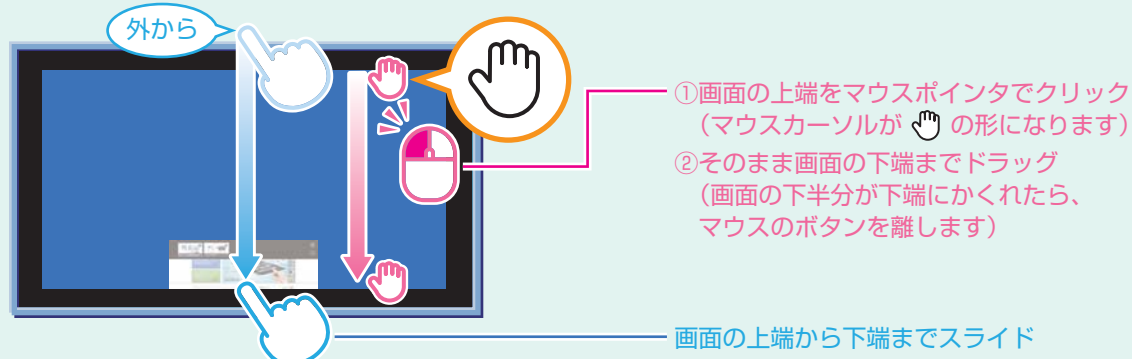
2 つの 画面にする

2 つの画面にするには、アプリのサムネイルを画面の左に表示（前ページ「最近使用したアプリをアプリ一覧から選ぶ」）してから、アプリのサムネイルを目的の位置までスライド（またはドラッグ）します。

おしらせ

- メイン アプリ、スナップ アプリの画面のサイズは固定です。
- メイン アプリの領域をフィル、スナップ アプリの領域をスナップと呼ぶ場合があります。
- この機能は、画面の解像度が「1366×768 ドット」以上の場合に利用できます。

アプリを終了する

①画面の上端をマウスポインタでクリック
（マウスカーソルが ✋ の形になります）
②そのまま画面の下端までドラッグ
（画面の下半分が下端にかくれたら、
マウスのボタンを離します）

画面の上端から下端までスライド

下端までスライド（またはドラッグ）して、画面が枠外に出たら、
指（またはマウスのボタン）を離します。
アプリを終了するとスタート画面（→p.2）に戻ります。

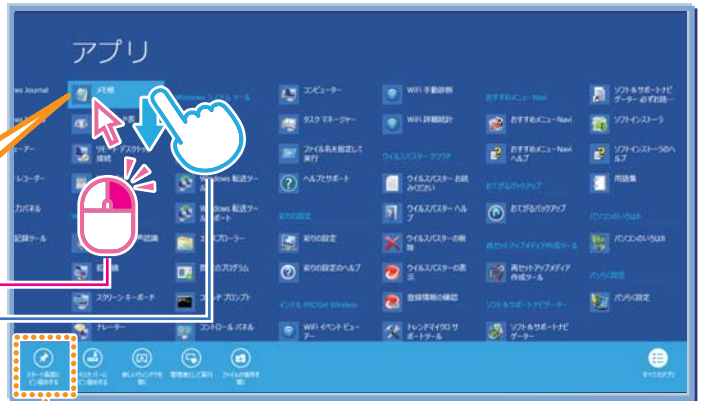
よく使うアプリはスタート画面にピン留め（登録）する

よく使うアプリは、スタート画面に「ピン留め（登録）」しておくと、すぐに使い始められます。

1. スタート画面でアプリ バーを表示し、（すべてのアプリ）をタップ（またはクリック）

   アプリ一覧が表示されます。

2. ピン留めしたいアプリを下にスワイプ（または右クリック）

   タイルに ✓ マークが付きます。

3. 「スタート画面にピン留めする」をタップ（またはクリック）

スタート画面に選んだアプリが追加されます。

アプリのタイルは自由に配置できます。

NX パッドまたはリモコンのタッチパッドで操作する

Windows 8 の操作は、NX パッド（LaVie のみ）、またはリモコンのタッチパッド（背面にタッチパッドが搭載されているリモコンのみ）でもできます。詳しくはソフト＆サポートナビゲーターから、それぞれ次の項目をご覧ください。

- 「NX パッドについて」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93030110 で検索
- 「リモコン」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010130 で検索

インターネット&メールをはじめましょう

Internet Explorer、および「メール」は、タッチパネルだけでなくマウス、キーボードの操作でも使いやすくできています。

Internet Explorer を使う

Internet Explorer を起動するには

→スタート画面（→p.2）から「Internet Explorer」タイルをタップ（またはクリック）

インターネットを検索するには

→チャーム バーの「検索」

印刷するには

→チャーム バーの「デバイス」（「デバイス」からプリンタを選び、「印刷」）

戻る／進むには

タッチ操作の場合は横方向にスワイプ、マウス操作の場合は画面左／右中央の矢印をクリック

終了するには

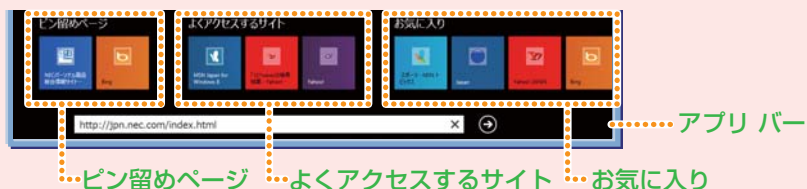
アプリを終了する（→p.8）

おしらせ

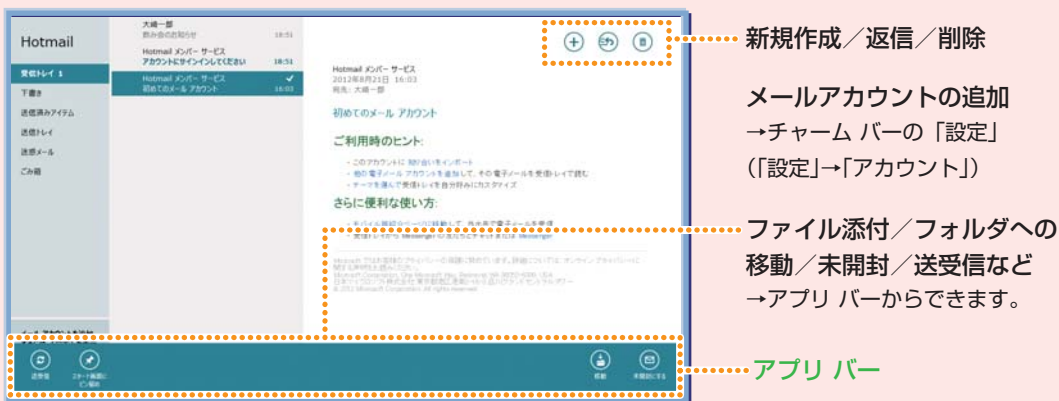
このパソコンでは、デスクトップ版 Internet Explorer も利用できます。Internet Explorer で利用できない機能（動画再生プラグインなど）を利用する場合は、デスクトップ版を使ってください。アプリ バーの をタップ（またはクリック）し、「デスクトップで表示する」をタップ（またはクリック）することで、デスクトップ版 Internet Explorer に切り換えられます。

◉ URLの入力／画面のタブ／よくアクセスするサイトを表示するには

→上または下からスワイプ（または画面を右クリック）してアプリ バー、ナビゲーション バーを表示する

URL をタップ（クリック）すると、ピン留めページ、よくアクセスするサイト、お気に入りを表示

メールを使う

◉「メール」を起動するには

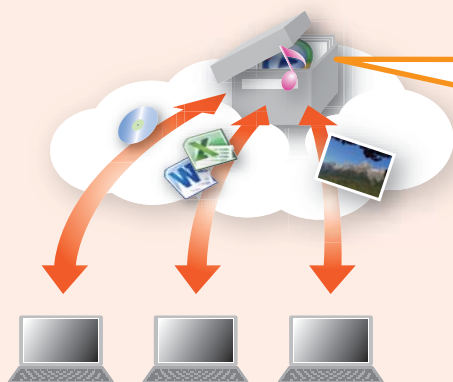
→スタート画面（→p.2）から「メール」タイルをタップ（またはクリック）

おしらせ

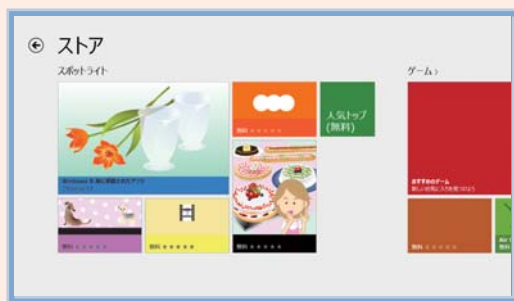
このパソコンにはデスクトップのメールアプリ「Outlook 2013」も用意されています。アドレスを使い分けるなど、従来のメールアドレスを使いたいときは、こちらをご利用ください。

つながる機能を使ってみましょう

家族や友人との情報のシェア、ファイル共有など、Windows 8 では「つながる」機能が大きく進化しています。パソコンに入っている便利で楽しい「つながる」アプリを使ってみましょう。

SkyDrive（スカイドライブ）を使ってファイルを共有する

SkyDrive は Microsoft 社が無料で提供しているインターネット上のストレージサービス（ファイル保管場所）です。
インターネット経由でどこからでもアクセスでき、ファイルを友だちや家族と共有することもできます。

ストアからアプリをインストールする（Windows ストア）

アプリを探し、気に入ったらすぐにインストールできるオンラインストアです。

おしらせ

Windows ストアでのアプリ探しもチャーム バーの「検索」が便利。たとえば、「旅行」などをキーワードで入力すると、旅行や天気に関するアプリが検索できます（アプリには有料 / 無料のものがあります）。

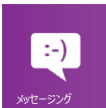
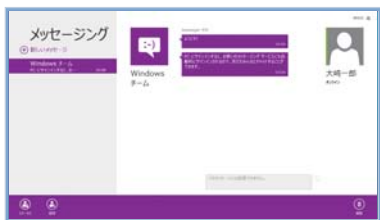
Windows 8 の新しいアプリを使う

地図

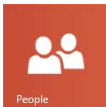
目的の場所や道順を調べたりできます。また、航空写真を表示したり、パンやズームにより詳細を確認できます。

カレンダー

仕事効率化アプリです。予定の共有がかんたんにでき、登録した予定をロック画面で見られるように設定すれば作業していないときでも通知を確認できます。

メッセージング

友だちとリアルチャットしたり、メッセージを残すことができます。

天気

最新の天気予報をさまざまな角度から確認できます。任意の場所の天気もわかります。

People（ピープル）

個人のつながりを管理するアプリ。大切な人たちといつでも連絡を取り合えます。

ファイナンス

現在のマーケット情報がわかります。通貨や世界市場の情報も。

重 要

● Microsoft アカウントについて

『セットアップマニュアル』または『ユーザーズマニュアル』（『セットアップマニュアル』が添付されていない場合）のセットアップ手順で取得した Microsoft アカウントでサインインしていれば、これらのアプリがすぐに利用できます。ローカル アカウントでは、起動時にアドレスやパスワードの入力を求められたり、機能が使えないなどの制限があります。

デスクトップ アプリは「デスクトップ」で実行しましょう

Windows 7/Vista/XP で使っていたアプリは Windows 8 では「デスクトップ アプリ」と呼び、「デスクトップ」から利用します。
スタート画面からデスクトップ アプリを起動すると、デスクトップが自動で表示され、アプリが使える状態になります。

デスクトップを表示するには、スタート画面で「デスクトップ」タイルをタップ（またはクリック）します（→p.2）。

ソフト＆サポートナビゲーター：
パソコンに搭載されているアプリの機能や操作方法を詳しく知ることができます（→p.15）。

おすすめメニュー Navi：
アプリやインターネット上のサービスなどをおすすめのメニューから使い始められます。

※表示される画面はお使いのモデルによって異なります。

デスクトップ版 Internet Explorer が利用できます。

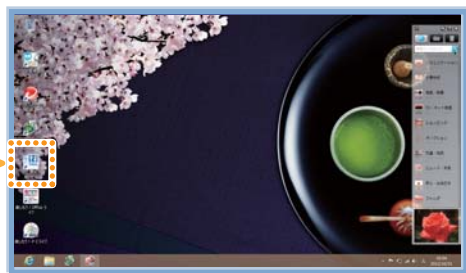
Windows 7 の「スタート」ボタンにあった主な機能は、Windows 8 では次の操作からおこなえます。

- アプリの起動
  →スタート画面（→p.2）
- PC 設定の変更（コントロール パネルの機能）
  →チャーム バー（→p.5）→「設定」→「PC 設定の変更」

ソフト＆サポートナビゲーターを活用する

ソフト＆サポートナビゲーターは、パソコン活用のナビゲーターです。

デスクトップ アプリをスタート画面にピン留め（登録）する

デスクトップ アプリもスタート画面にピン留め（登録）できます（アプリによってはできないものもあります）。

スタート画面に選んだアプリが追加されます。

重 要

すでにお持ちのアプリや、ご購入予定のアプリの Windows 8 対応状況については、アプリをご購入された販売店またはアプリの製造元へご確認ください。詳しくは各アプリの取扱説明書などをご覧ください。

ショートカットキーを活用しましょう

ショートカットキーはキーボードのキーの組み合わせでパソコンを操作する機能。なれるとすばやくパソコンを操作できます。下の表でよく使うショートカットキーをご紹介します。

ショートカットキー	機能（前のキーを押しながら後ろのキーを押したときのパソコンの動き）
Windows ＋ C	チャーム バーを表示
Windows ＋ Z	・アプリ バーを開く（スタート画面の場合） ・アプリ バーやナビゲーション バーを開く（アプリ起動中の場合）
Alt ＋ F4	アプリを終了する（閉じる）
Windows ＋ X	画面左下にプログラムと機能などのショートカットメニューを表示
Windows ＋ E	デスクトップに切り換わり、エクスプローラーでコンピューターを表示
Windows ＋ L	パソコンをロック（ロック画面（→p.3）になります）

おしらせ

Windows キーは「Windows キー」と呼びます。

◆このマニュアルで使用しているアプリ名などの正式名称について

本文中の表記	正式名称
Windows 8	Windows® 8、Windows® 8 Pro
Outlook 2013	Microsoft Outlook 2013
Internet Explorer	Windows® Internet Explorer® 10
タスク バー	Windows® タスク バー

© NEC Personal Computers, Ltd. 2013
NEC パーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本文中の内容は、モデルにより異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。
Microsoft、Windows、Internet Explorer、Outlook は、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。
その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

このマニュアルでは、チャームを表示している領域を「チャーム バー」と呼んでいます。

初版 2013 年 2 月
NEC
853-811064-277-A
Printed in Japan

NEC パーソナルコンピュータ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目 11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。